

砂の美術館×鳥取県立美術館

漫画家谷口ジロー作品『遙かな町へ』の砂像を制作・展示します

このたび砂の美術館では、今夏鳥取県立美術館の展覧会「マンガを拓く 谷口ジロー」開催を契機として、鳥取県出身の漫画家・谷口ジローの代表作『遙かな町へ』を題材とした砂像を制作し、当館敷地内で展示します。

記

■展示について

1. 展示期間 2026(令和 8)年 8 月 1 日(土)～11 月 8 日(日) 9:00～18:00
2. 展示場所 砂の美術館 売店テラス（鳥取市福部町湯山 2083-17）※無料エリア
3. 協 力 鳥取県立美術館、株式会社ふらり

■作品について

1. テーマ 谷口ジロー『遙かな町へ』
2. 制作期間 2026(令和 8)年 7 月 11 日(土)～7 月 31 日(金)
3. 制 作 者 石飛 健一(砂の美術館スタッフ)
4. 寸法など 寸法:高さ 1.8m×幅 1.8m×奥行 1.2m 使用する砂の量:約 5t

(1)漫画『遙かな町へ』について

谷口ジローの代表作『遙かな町へ』は、48 歳の会社員・中原博史が郷里・倉吉の町でタイムスリップして 14 歳の自身と入れ替わり、若き日の父と再会するという父と子の物語です。

1999 年文化庁メディア芸術祭マンガ部門最優秀賞受賞、2003 年にはアングレーム国際マンガ祭で最優秀脚本賞受賞、以降世界各国の漫画賞を受賞し国際的に評価されています。さらに今年 10 月には日本映画化することでも注目されている作品です。

(2)砂像の題材について

このたび制作する砂像は、『遙かな町へ』の口絵イラストが題材です。手前には 14 歳の主人公を立体的に造形し、背景には原作の舞台である倉吉の玉川沿い、白壁通土蔵が建ち並ぶ風景をレリーフ状に彫刻します。谷口ジローが描いた作品世界を忠実に表現します。

(3)鳥取のアートシーン活性化へ

本企画は、昨年の「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」以来、鳥取県立美術館との 2 度目のコラボレーションです。砂像の展示期間中(8 月～11 月 1 週目)、当館は入館者数 18 万人を見込み、県外からの来館者が 95%を占めます。当館での砂像展示を通して、展覧会や映画公開の情報発信することで、鳥取のアートシーン活性化に貢献します。

■鳥取県立美術館 企画展「マンガを拓く 谷口ジロー」について

- 会期 2026 年 7 月 11 日(土)～8 月 30 日(日) 休館日 月曜日(7 月 20 日、8 月 10 日は開館)、7 月 22 日(火)
- 会場 鳥取県立美術館 企画展示室
- 主催 谷口ジロー展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、新日本海新聞社)
- 協賛 三菱ケミカル株式会社 ●企画協力 レインボーボード合同会社 ●特別協力 株式会社ふらり
- 公式 HP <https://tottori-moa.jp/exhibition/view/taniguchijiro/>
- 鳥取県立美術館×鳥取砂丘砂の美術館 セット券販売
展覧会「マンガを拓く 谷口ジロー」の会期中、両館をお得に観覧できるセット券を販売します！
販売期間 2026 年 7 月 11 日(土)～8 月 30 日(日)
販売価格 一般 2,000 円、大学生 1,500 円、高校生 800 円、小中生 600 円(全4種)